**2007年度夏学期　現代教育論　担当：丹野義彦**
試験時間60分
持込み不可

問題１．（　）内の選択肢の中から最も妥当なものを選び、回答欄にイロハなどの記号で記せ。

(1)ヨーロッパの学校制度の代表として、大学進学率の高いエリート学校があげられる。次のうちどれか。
　（イ：モダンスクール、　ロ：グラマースクール、　ハ：ハウプトシューレ、　ニ：レアールシューレ）

(2)ヨーロッパの社会で学歴競争や大学入試が過熱しない理由として、適切でないものはどれか。
　（イ：単線型教育制度、　ロ：義務職業教育、　ハ：大学入試資格試験、　ニ：三分方式）

(3)大学における教養教育をあらわす理念として最も関連の薄いものはどれか。
　（イ：チューターシステム、　ロ：オープンアドミッション、　ハ：ハーバード方式、　ニ：リベラルアーツ）

(4)アメリカの大学入試を特徴づける制度として、関連の薄いものはどれか。
　（イ：AO、　ロ：DSM、　ハ：SAT、　ニ：GPA）

(5)旧制高校の教育の特徴として、適切でないものはどれか。
　（イ：少人数教育、　ロ：高等専門教育、　ハ：ヨーロッパ・モデル、　ニ：寮制度）

(6)日本で能研テストが行われた時期はどれか。
　（イ：1943-1948年、　ロ：1953-1958年、　ハ：1963-1968年、　ニ：1973-1978年）

(7)神経症型の不登校児に対する対応として最もふさわしいとされているのはどれか。
　（イ：登校強迫を促して登校不安を低める、　ロ：登校刺激を減らして登校強迫を低める、　ハ：登校刺激を与えて登校強迫を低める、　ニ：登校強迫を高めて登校刺激を低める）

(8)中学校において、長期欠席の理由として、最も少ないのはどれか。
　（イ：怠学、　ロ：不就学、　ハ：学校ぎらい、　ニ：病気欠席）

(9)中学校における教師の体罰が後をたたない。次のうちで、体罰を許容する論理として持ち出されることの最も多いものはどれか。
　（イ：学校教育法、　ロ：懲戒規定、　ハ：in loco parentis論、　ニ：わかる授業）

(10)中学校で対教師暴力が増えた時、いろいろな対策が考えられた。対策の理念と具体的方法の組み合わせとして、以下のうち最も妥当でないのはどれか。
　（イ：外的誘因低下のための非行集団の解体、　ロ：内的誘因低下のための毅然とした態度、　ハ：外的抑止力増大のための対応のマニュアル化、　ニ：内的抑止力増大のための個別指導）

問題２．(1)レヴィンのリーダーシップ実験の概略を説明し、それが「いじめ」を考えるのになぜ示唆に富むか述べよ。(2)この実験から、「いじめ」防止対策として、どのようなことが考えられるか述べよ。

問題３．企業のあり方が学校教育に与えている影響について、以下の５点から、アメリカと日本を比較しながら説明せよ。
(1)個人の能力を評価する方法、(2)職業教育、(3)職業適性テスト、(4)教育社会の構造、(5)大学入試

**編注：問題２と問題３は、A４の用紙で１２行分の回答欄が作られています。**

**2006年度夏学期　現代教育論　担当：丹野義彦**
試験時間60分
持込み不可

問題１．（　）内の選択肢の中から最も妥当なものを選び、回答欄にイロハニなどの記号で記せ。

(1)いじめに対する対策として、最も関連のうすいものはどれか。
　（イ：ロールプレイ、　ロ：民主型リーダーシップ、　ハ：同年齢集団づくり、　ニ：ソシオメトリックテスト）

(2)中学校で対教師暴力が増えた時、いろいろな対策が考えられた。対策の理念と具体的方法の組み合わせとして、以下のうち最も妥当でないのはどれか。
　（イ：外的誘因低下のための非行集団の解体、　ロ：内的誘因低下のための毅然とした態度、　ハ：外的抑止力増大のための対応のマニュアル化、　ニ：内的抑止力増大のための個別指導）

(3)強迫症状の説明として適切でないものはどれか。
　（イ：強迫行為を抑えるとかえって不安になる、　ロ：強迫観念は、健常な成人にはみられない、　ハ：強迫症状は、ある場面では適応的なこともある）

(4)精神分析療法に最も関連の薄い治療技法はどれか。
　（イ：自由連想法、　ロ：系統的脱感作法、　ハ：夢分析、　ニ：転移分析）

(5)大学における教養教育をあらわす理念として最も関連の薄いものはどれか。
　（イ：ハーバード方式、　ロ：リベラルアーツ、　ハ：チューターシステム、　ニ：オープンアドミッション）

(6)アメリカの大学入試を特徴づける制度として、関連の薄いものはどれか。
　（イ：SAT、　ロ：AO、　ハ：DSM、　ニ：GPA）

(7)ヨーロッパの学校制度の代表として、大学進学率の高いエリート学校があげられる。次のうちどれか。
　（イ：レアールシューレ、　ロ：モダンスクール、　ハ：グラマースクール、　ニ：ハウプトシューレ）

(8)ヨーロッパの社会で学歴競争や大学入試が過熱しない理由として、適切でないものはどれか。
　（イ：義務職業教育、　ロ：単線型教育制度、　ハ：大学入試資格試験、　ニ：三分方式）

(9)日本で能研テストが行われた時期はどれか。
　（イ：1943-1948年、　ロ：1953-1958年、　ハ：1963-1968年、　ニ：1973-1978年）

(10)旧制高校の教育の特徴として、適切でないものはどれか。
　（イ：ヨーロッパ・モデル、　ロ：寮制度、　ハ：少人数教育、　ニ：高等専門教育）

問題２．神経症型の不登校の生徒に対して、登校刺激を与えることがかえって逆効果になることがあるのはなぜか説明せよ。

問題３．(1)日本のモデルとなったアメリカの大学の「三分野均等必修」の制度とはどのようなものか、どのような理念にもとづくものか説明せよ。(2)日本の新制大学に取り入れられた「三分野均等必修」の制度が形骸化したとされるのはなぜか説明せよ。

**編注：問題２と問題３は、A４の用紙で１２行分の回答欄が作られています。**

**2004年度夏学期　現代教育論（丹野義彦）　2004年7月27日　施行**

試験時間６０分

持込み不可

注意　試験用紙は裏表両面に印刷されています。問題２と３は、問題下の枠内に収まるように記入してください。これまでの３回のレポートと本試験の結果を総合して成績を評価します。

問題１．（　）内の選択肢の中から最も妥当なものを選び、イロハニなどの記号を○で囲め。

（１）中学校における教師の体罰が後をたたない。次のうちで、体罰を許容する論理として持ち出されることの最も多いものはどれか。
　（イ：in loco parentis論、　ロ：懲戒規定、　ハ：学校教育法、　ニ：わかる授業）

（２）ヨーロッパ社会で学歴競争や大学入試が加熱しない理由にあげられる要因として、適切でないものはどれか。
　（イ：義務職業教育、　ロ：大学入試資格試験、　ハ：社会の流動性、　ニ：複線型教育制度）

（３）大学進学資格試験でないものはどれか。
　（イ：バカロレア、　ロ：１１プラス試験、　ハ：Ａレベル試験、　ニ：アビトゥーア）

（４）ヨーロッパの複線型教育の代表として、大学進学率の高いエリート学校があげられる。次のうちどれか。
　（イ：レアールシューレ、　ロ：モダンスクール、　ハ：グラマースクール、　ニ：ハウプトシューレ）

（５）中学校における対教師暴力の発生件数がピークを示したのは、（イ：1963年、　ロ：1973年、　ハ：1983年、　ニ：1993年）である。

（６）いじめに対する対策として、最も関連のうすいものはどれか。
　（イ：ロールプレイ、　ロ：専制型リーダーシップ、　ハ：異年齢集団づくり、　ニ：ソシオメトリックテスト）

（７）大学入試は共通一次試験を境として大きく変化した。それによって、大学のあり方そのものにも影響が及ぶようになった。その共通一次試験が始まったのはいつか。
　（イ：1979年、　ロ：1984年、　ハ：1987年）

（８）大学入試の歴史をみると、共通一時以前にも、共通試験がおこなわれたことがある。1947～54年の日本で、アメリカの制度を模倣しておこなわれた共通試験はどれか。
　（イ：進学適性検査、　ロ：能研テスト、　ハ：全国学力テスト）

（９）1947～54年に日本でおこなわれた共通試験がモデルとしたものはどれか。
　（イ：ＧＰＡ、　ロ：ＳＡＴ、　ハ：ＭＢＡ）

（10）強迫症状の説明として適切でないものはどれか。
　（イ：強迫行為を抑えるとかえって不安になる、
　　ロ：強迫観念は、健全な成人にはみられない、
　　ハ：強迫症状は、ある場面では適応的なこともある）

問題２．不安障害（いわゆる神経症）は、どのようにして生じるのか、またそれをどのように治療したらよいのか、以下の立場からそれぞれ説明せよ。（１）精神分析理論、（２）学習理論

問題３．（１）旧制高校における教養教育の特徴と限界について述べなさい。（２）アメリカの大学のリベラルアーツの特徴と限界について述べなさい。その際、（１）と（２）のいずれかにおいて、次のキーワードを１回は用いること。用いる順序は自由。文中のキーワードにはアンダーラインを引いておくこと。
　キーワード：ヨーロッパ・モデル、プロフェッショナル・スクール、図書館制度